



ANRS-72417B / 本編約 260 分 6,050 円 (税込)

ANRS-72416 / 本編約 260 分 5,500 円 (税込)

※DVD は 2 枚組です

■撮影日 / 2024 年 7 月 26 日 (金) 晴

■区間 / 金沢 (7:30 発) ⇒ 大聖寺 (8:21 着 - 8:50 発) ⇒ 金沢 (9:42 着)
金沢 (10:30 発) ⇒ 福井 (11:51 着 - 12:18 発) ⇒ 金沢 (13:40 着)

■ 本編の概要 ■

2024 年 3 月 16 日、北陸新幹線が敦賀まで延伸開業し、北陸本線の金沢～敦賀は第三セクター化され、金沢～大聖寺は IR いしかわ鉄道、大聖寺～金沢はハピラインふくいに JR 西日本から運営移管されました。青空の下、金沢駅外れの留置線から出発してホームへ向う。発車すると加賀笠間を過ぎる辺りまで、15km ほど北陸新幹線と並走して走る。小松と加賀温泉は新たに新幹線停車駅となったが、共に在来線特急が廃止され、これまでの長いホームが用途を持て余しているようだ。大聖寺を出ると、ハピラインふくいの管轄内となり、熊坂トンネルを抜けて福井県に入る。県境の山間部が終わり、しばらく離れていた新幹線が現れ、頭上を越えて行くと芦原温泉に到着する。九頭竜川を渡り、福井市街地が広がってくると、新幹線、えちぜん鉄道と並んで終着の福井へ向って行く。

■ IR いしかわ鉄道商品化許諾済

◆ 展望本編 (金沢⇒福井) の主なキャプチャ画像 ◆

※本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じることがあります。



※カバー画像はブルーレイ盤です



構内外れにある留置線から出発し、金沢駅のホームへ向って行く。



金沢で発車待ち。七尾線に向う赤帯の 521 系と顔を合わせる。



ハピラインの列車も金沢までやって来る。左の高架は北陸新幹線。(野々市～松任)



西松任は今回の 3 セク化とともに開業。近くには、北陸新幹線白山総合車両所がある。



金沢から並走してきた北陸新幹線も離れて行く。(加賀笠間～美川)



トラス橋で手取川を渡る。河口に近く川幅も広い。(美川～小舞子)



新たに新幹線停車駅となった小松。在来線側は一足早く高架化されていた。



JR 時代の塗色のまま運用されている 521 系もある。(小松～栗津)
※現在は全て塗り替えられた。



加賀温泉に到着。在来線特急なきあとの閑散とした長いホームが怪しい。



大聖寺を出ると、ハピラインふくい線走る。この駅が営業上で社界となる。



石川と福井との県境となる熊取トンネルに入る。(大聖寺～牛ノ谷)



「特急街道」と謳われたのも昔の話で、今や時折、普通とすれ違う程度だ。(芦原温泉～丸岡)



1968 年に廃止された京福電鉄丸岡線の遺構(橋桁)が見られる。(丸岡～春江)



かつては特急列車等の有名撮影地だった九頭竜川橋りょうを渡る。(森田～福井)



新幹線の高架の間から、えちぜん鉄道の車両基地がわずかに望める。



福井に到着。在来線特急が消え、ホーム上も活気がなくなったように見えて寂しい。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承ください。

■ キャプチャー画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。